

離れても
ずっと親子

どうする?! 別居離婚後の子育て 知っておきたい共同養育

離婚しても子どもにとってパパもママも親であることは変わりません
両親が育児に関わる「共同養育」に向けた親の心得・秘訣とは?!

① 基調講演

「離婚家庭の子どもの気持ち」



小田切紀子先生

心理学博士・臨床心理士
東京国際大学人間社会学部教授

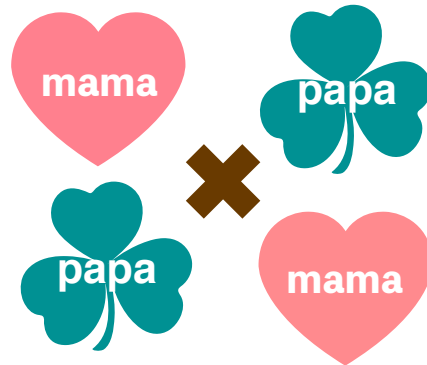
主な著書

- 家族の心理－変わる家族の新しいかたち
- 離婚と子ども
- 離婚後の共同養育と面会交流実践ガイド

② パネルディスカッション

「いろいろなカタチの共同養育」

同居親ママ&別居親パパによる
公開意見交換会



12.2

[SUN.] 14:00-16:30 (13:30OPEN)

会場: Hikarieカンファレンス

東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ11F
渋谷駅15番出口直結 (エレベーターをご利用ください)



参加費: 1,500円 (事前) 2,000円 (当日)

対象: 子連れ離婚を悩んでいる方、離婚している方、共同養育に関心のある方など

お申込: 事前申込制 右記サイトよりお申込ください(<http://www.rimusubi.com/kouenkai>)

【お申込】



定員: 60名 (先着順 定員になり次第受付終了)

*講演会終了後、登壇者を囲んだ懇親会を行います。参加ご希望の方は講演会とあわせてお申込みください。

りむすびは共同養育実践に向けてサポートします

■ 共同養育実践パパママの声（りむすびwebサイトより抜粋）

- ・共同養育をして良かったと思うことは、なにより娘が親が離婚したことにより娘が失うものを最小限にできたことだと思います。娘は私にもパパの話をよくしますし、家にはパパの写真を飾って嬉しそうにしています。あとは、子育ての負担を分け合えることです。時間的にも精神的にも楽になりました。（ママ）
- ・離婚するほどの旦那と子ども達を合わせることに少しの葛藤もなかった訳ではありません。離婚するのに、頼るの？みたいな気持ちもありました。でもいいのです。大切なのは子どもたちの気持ちです。（ママ）
- ・ひとりでは連れて行けないところに連れて行ってきて、人並みの文化的経験ができていのもパパのおかげ。当たり前なのが当たり前のようにできるのも良いことと感じています。（ママ）
- ・子ども達にとっても別居はしていても話を聞いてもらえて信頼できる大人が一人でも多くいることが良いのではと考えています。私は元夫に対して全てを許せているわけではありませんが、これから進路や仕事で彼女たちが迷った時に愛情を持って接してくれることを信じています。（ママ）
- ・自分自身が心がけたのは「正論よりも相手の気持ちを優先する」ということです。具体的には、客観的に「おかしいよね」と思うことでも、いったん「そう考えるくらい大変だったんだ」と思うようにしました。また、自分自身子どものことを思っている行動が、本当に子どものためなのか、子どもの本心はどうかを考えることを心がけました。（パパ）
- ・紆余曲折があってようやく共同養育のできている家族のかたちになってきたように思います。家族というものを積み木で例えるなら、離婚によって一度崩れてしまったものを、いろいろな人の力を借りながら土台を作り、月一回の面会からひとつひとつ積み上げて、今では子どもたちも含めた全員でひとつのものをつくりあげているように実感します。今度は何があっても崩れない頑丈なものを作りたいと思っています。（パパ）
- ・「我が子の成長は待たなし」という状況で…「過去を引きずらず、未来優先志向で物事を捉えること」は決して簡単なことではありません。しかし、その向かう道の先に、「子どもにとって最愛の存在である両親を中心とした共同養育が繋がっているのではないかと」私は考えます。（パパ）
- ・今のような面会ができるようになってきたのは、元奥さんの「自分を克服したい」という思いによるものが一番大きかったように思います。そして、家族で面会できるようになって一番喜んでいのも元奥さんではないかと思っています。（パパ）

■ 一般社団法人りむすび

別居離婚後の子育てやお相手との関わりでお悩みの方へ、夫婦関係修復から共同養育実践までトータルサポート。親同士の関係再構築に向けて、ご相談者とお相手との気持ちの架け橋役を担います。また、離婚しても親はふたり「共同養育」普及に向け、講演・執筆活動等を行っております。

■ 代表プロフィール しばはし聡子 共同養育コンサルタント



NPO法人日本家族問題相談連盟 離婚夫婦問題カウンセラー
慶応義塾大学法学部法律学科卒業後、電力業界で広報・秘書業務に従事

26歳で結婚し30歳で出産。仕事も家庭も順風満帆はなすが、40歳でまさかの離婚。子連れ離婚後、元夫との関わりや面会交流に後ろ向きな思いを乗り越えた自身の経験を生かし、離婚後の子育てや相手方との関わりで悩む親、そして子どもの一助となりたい思いから、20年勤めた会社を退職し、「一般社団法人りむすび」設立。現在、個別相談や面会交流支援に加え、講演や執筆を通して「離婚しても親はふたり」共同養育の普及に向けて活動中。

■ 共同養育実践に向けたオンラインサロン

パパママ交流会「りむすびコミュニティ」

親としての心得や相手との関わり方などについての悩みや経験を共有し、パパママの横のつながりをつくり相互理解をはかるコミュニティ。

自分の夫や妻には聞けない気持ちを知ることで、共同養育が円滑に行えるためきっかけづくりや、みなさんの心地よい居場所になることを目的としています。



■ まんが「離れてもずっと親子」

共同養育普及に向けて短編まんが。子どもを夫に会わせたくない妻のきもち、子どもに会えず不安で憤る夫のきもち、そしてなにより両親の間でゆれる子どもの気持ち、夫婦の感情と親子関係を切り離すことの大切さを描いた作品です。

